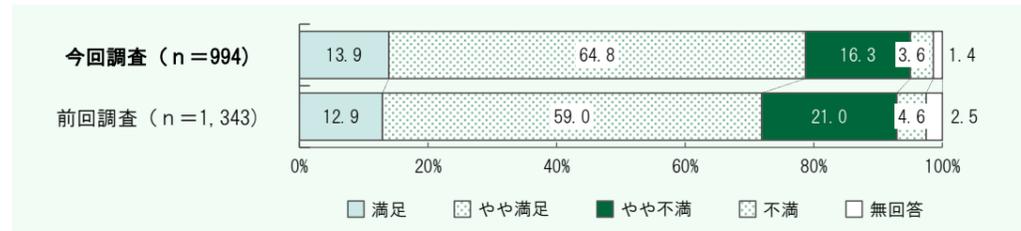


# 令和7年度（2025年度）磐田市市民意識調査【結果概要】

## 1. 磐田市の取組みについて

### ●市政全般の満足度（問1）

市政全般について、『満足』（「満足」＋「やや満足」）している人は約8割



前回調査と比べ、『満足』が増加している。

### ●総合計画の基本施策の取組みの満足度※（問5）

※4に近いほど満足度が高く、1に近いほど満足度が低いことを示している。

満足度指数が高い基本施策は

- ・「8 スポーツの振興」
- ・「26 水道水の安定供給と下水道の整備」
- ・「21 消防・救急体制の充実」

#### ■満足度順位表（抜粋）

順位	基本施策	満足度指数	順位	基本施策	満足度指数
1	8 スポーツの振興	3.03	27	30 持続可能な財政基盤の確立	2.69
2	26 水道水の安定供給と下水道の整備	3.00	28	3 産業を担う人材の育成・就労の支援	2.67
3	21 消防・救急体制の充実	2.99	29	6 移住・定住の推進	2.65
4	18 健康づくりの推進	2.92	30	23 計画的な土地利用の推進	2.54
5	22 市民生活の安全・安心の確保	2.91	31	24 公共交通体系と道路網の整備	2.41

### ●総合計画の基本施策の取組みの重要度※（問5）

※4に近いほど重要度が高く、1に近いほど重要度が低いことを示している。

重要度指数が高い基本施策は

- ・「20 危機管理・防災対策の推進」
- ・「19 地域医療体制の充実」
- ・「26 水道水の安定供給と下水道の整備」

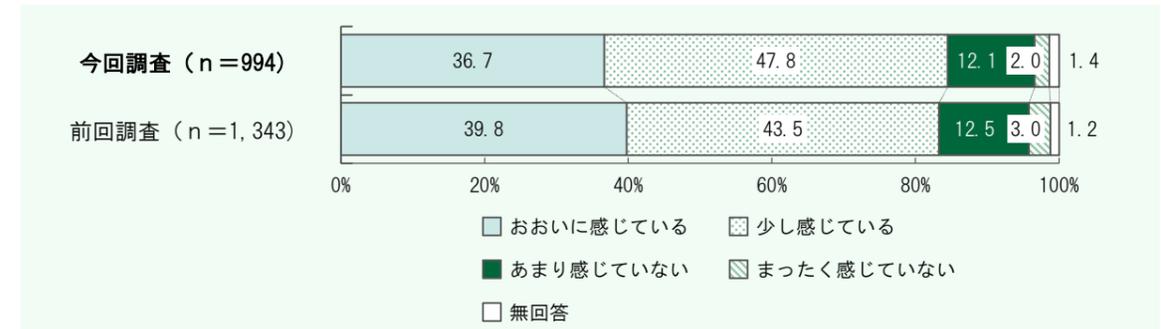
#### ■重要度順位表（抜粋）

順位	基本施策	重要度指数	順位	基本施策	重要度指数
1	20 危機管理・防災対策の推進	3.70	27	7 コミュニティと市民活動の活性化	3.12
2	19 地域医療体制の充実	3.68	28	8 スポーツの振興	3.08
3	26 水道水の安定供給と下水道の整備	3.66	29	5 ブランド力の強化とシティプロモーションの推進	3.05
4	21 消防・救急体制の充実	3.65	30	11 共生社会の確立	3.05
5	22 市民生活の安全・安心の確保	3.59	31	9 文化の振興と歴史遺産の整備、活用	2.98

## 2. まちへの想いについて

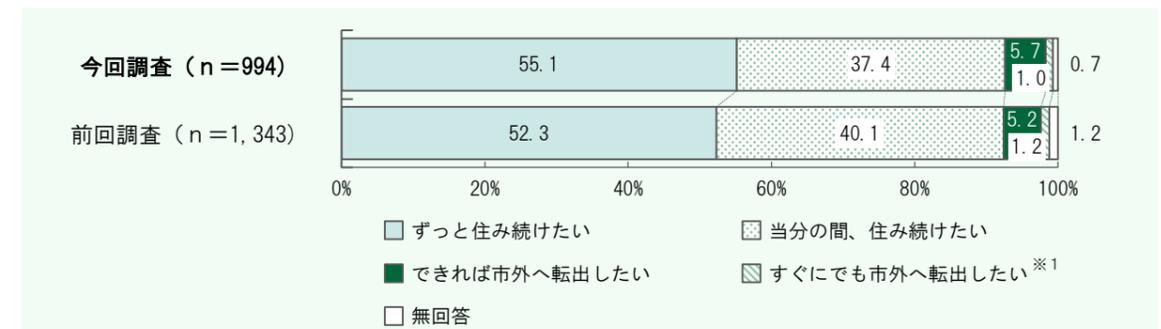
### ●磐田市への愛着や親しみ（問8）

磐田市に愛着や親しみを『感じている』（「おおいに感じている」＋「少し感じている」）人は8割以上



### ●磐田市での居住継続意向（問10）

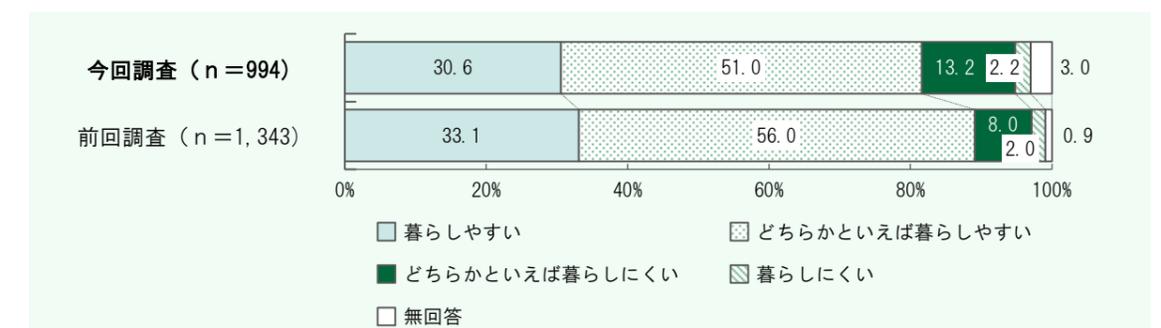
磐田市に『住みたい』（「ずっと住みたい」＋「当分の間、住みたい」）人は9割以上



※1：前回調査は「市外へ転出したい」であった

### ●磐田市の暮らしやすさ（問11）

磐田市が『暮らしやすい』（「暮らしやすい」＋「どちらかといえば暮らしやすい」）と思う人は8割以上

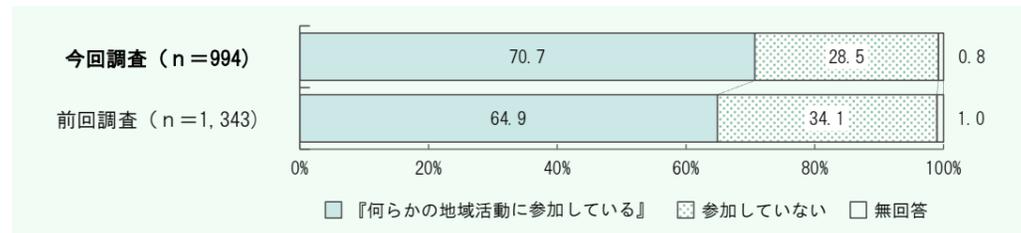


前回調査と比べ、『暮らしにくい』（「どちらかといえば暮らしにくい」＋「暮らしにくい」）が増加している。

### 3. コミュニティについて

#### ●参加している地域活動（問14）

『何らかの地域活動に参加している』（「参加していない」「無回答」を除く）人は7割以上



前回調査と比べ、『何らかの地域活動に参加している』が増加している。

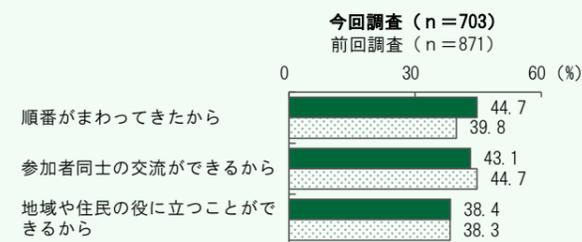
#### ●地域活動に参加する理由（問15）

地域活動に参加する理由は

- ・「順番がまわってきたから」
- ・「参加者同士の交流ができるから」
- ・「地域や住民の役に立つことができるから」

前回調査と比べ、「順番がまわってきたから」が増加している。

##### ■上位3項目の抜粋



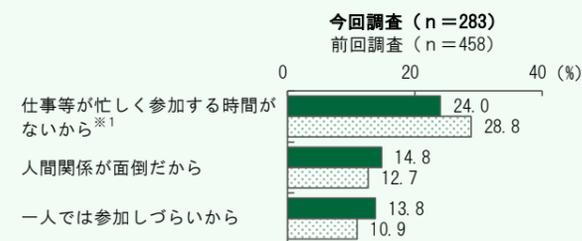
#### ●地域活動に参加していない主な理由（問16）

地域活動に参加していない主な理由として最も多いものは「仕事等が忙しく参加する時間がないから」

前回調査と比べ、「活動の必要性を感じていないから」が増加している。

※1：前回調査は「仕事をしているため参加する時間がないから」であった

##### ■上位3項目の抜粋



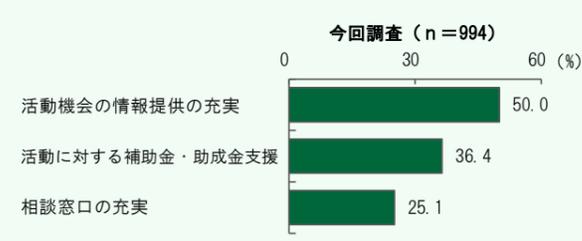
#### ●地域活動をより活発にするための支援策として、特に優先すべきもの（問17）

地域活動をより活発にするための支援策として、

特に優先すべきものは

- ・「活動機会の情報提供の充実」
- ・「活動に対する補助金・助成金支援」
- ・「相談窓口の充実」

##### ■上位3項目の抜粋



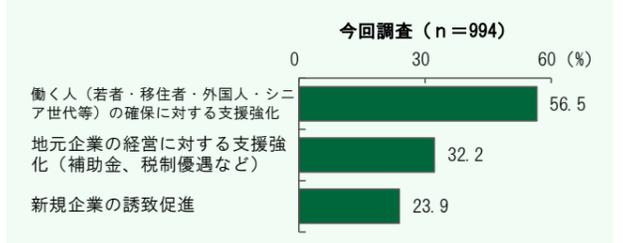
### 4. 産業（商業・工業・農林水産業）について

#### ●今後、市内の産業をさらに活性化するために、特に優先すべきもの（問18）

今後、市内の産業をさらに活性化するために、特に優先すべきものは

- ・「働く人（若者・移住者・外国人・シニア世代等）の確保に対する支援強化」
- ・「地元企業の経営に対する支援強化（補助金、税制優遇など）」
- ・「新規企業の誘致促進」

##### ■上位3項目の抜粋



### 5. 福祉について

#### ●誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、特に優先すべきもの（問19）

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、特に優先すべきものは

- ・「医療・介護・予防・住まい・生活支援についての身近な相談窓口の充実」
- ・「公共交通など移動手段の確保」
- ・「認知症や独居高齢者の支援拡充（早期発見・早期対応、在宅介護、家族支援など）」

##### ■上位3項目の抜粋



### 6. 子育て・教育について

#### ●安心して子どもを産み育てるために、特に優先すべきもの（問20）

安心して子どもを産み育てるために、特に優先すべきものは

- ・「保育所・認定こども園の充実と待機児童の解消」
- ・「仕事と育児の両立支援（育児休業制度の充実、企業への働きかけ）」
- ・「子育て世帯への経済的支援の拡充」

##### ■上位3項目の抜粋



#### ●子どもたちに対する教育を充実させるために、特に優先すべきもの（問21）

子どもたちに対する教育を充実させるために、特に優先すべきものは

- ・「教育現場の待遇改善（教職員の増員や働きやすい環境の整備など）」
- ・「不登校・いじめ対策の強化（カウンセラーの増員、相談体制の充実）」
- ・「学校施設の改修・整備（エアコン設置、トイレの洋式化、バリアフリー化など）」

##### ■上位3項目の抜粋

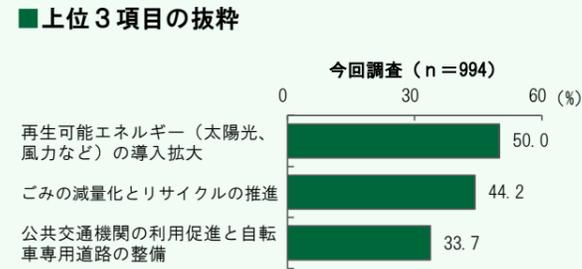


## 7. 環境について

### ●カーボンニュートラルの取組みを推進するために、特に優先すべきもの（問 23）

カーボンニュートラルの取組みを推進するために、特に優先すべきものは

- ・「再生可能エネルギー（太陽光、風力など）の導入拡大」
- ・「ごみの減量化とリサイクルの推進」
- ・「公共交通機関の利用促進と自転車専用道路の整備」

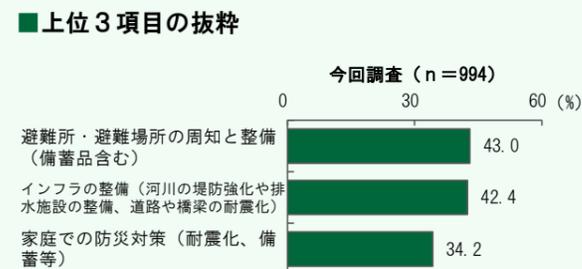


## 8. 防災について

### ●磐田市の総合的な防災対策として、特に優先すべきもの（問 24）

磐田市の総合的な防災対策として、特に優先すべきものは

- ・「避難所・避難場所の周知と整備（備蓄品含む）」
- ・「インフラの整備（河川の堤防強化や排水施設の整備、道路や橋梁の耐震化）」
- ・「家庭での防災対策（耐震化、備蓄等）」



## 9. 学びについて

### ●すべての世代が生涯豊かに暮らせるよう、学びを楽しみ、人と人との対話を通じた交流が生まれるまちを目指し、今後さらに進めなければならないこと（問 25）

すべての世代が生涯豊かに暮らせるよう、学びを楽しみ、人と人との対話を通じた交流が生まれるまちを目指し、今後さらに進めなければならないことは

- ・「多世代交流イベントの定期的な開催」
- ・「生涯学習講座（交流センター等）の充実」
- ・「高齢者の知識・経験を活かすシニアボランティア制度の拡充」



## 10. 物価高騰に対する影響について

### ●物価高騰への対策として、特に重要だと思うこと（問 27）

物価高騰への対策として特に重要だと思うことは

- ・「公共料金の負担軽減」
- ・「低所得者向けの生活支援給付金の支給」
- ・「高齢者向けの生活支援サービスの拡充」

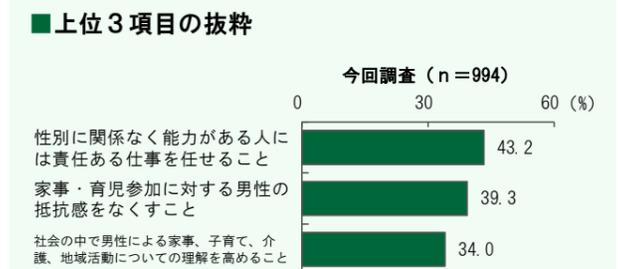


## 11. 男女共同参画社会について

### ●男女ともに活躍していくために、特に必要なこと（問 30）

男女ともに活躍していくために、特に必要なことは

- ・「性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること」
- ・「家事・育児参加に対する男性の抵抗感をなくすこと」
- ・「社会の中で男性による家事、子育て、介護、地域活動についての理解を高めること」

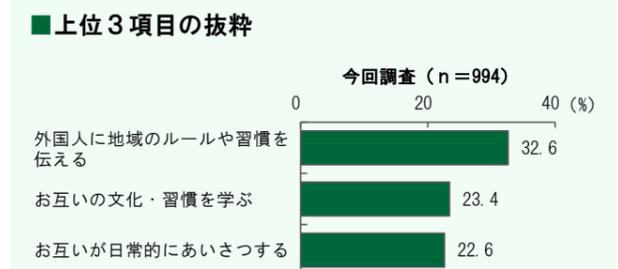


## 12. 多文化共生社会について

### ●外国人と日本人が互いに尊重し、対等な立場で暮らすために最も必要なこと（問 32）

外国人と日本人が互いに尊重し、対等な立場で暮らすために最も必要なことは

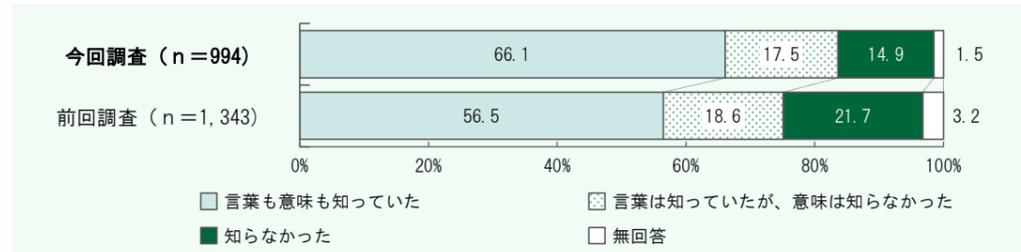
- 「外国人に地域のルールや習慣を伝える」



## 13. セクシュアルマイノリティ（性的少数者）について

### ●セクシュアルマイノリティ（性的少数者）の認知度（問 35）

セクシュアルマイノリティという『言葉を知っていた』（「言葉も意味も知っていた」＋「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」）人は8割以上

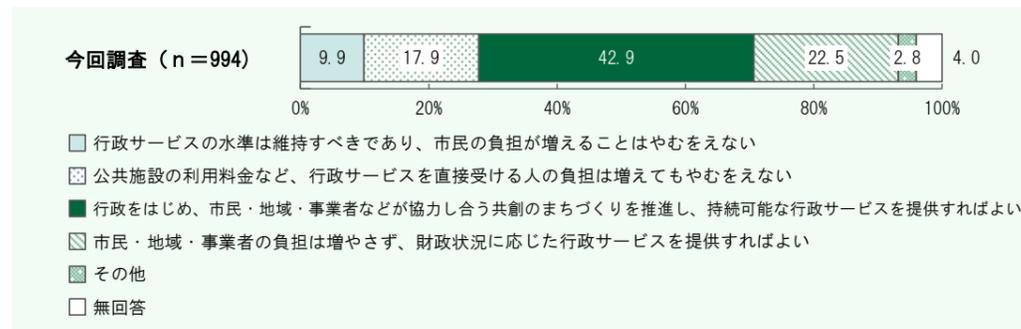


前回調査と比べ、『言葉を知っていた』が増加している

## 14. 行政運営について

### ●これからの行政サービスの水準と市民の負担のあり方についての考え（問 37）

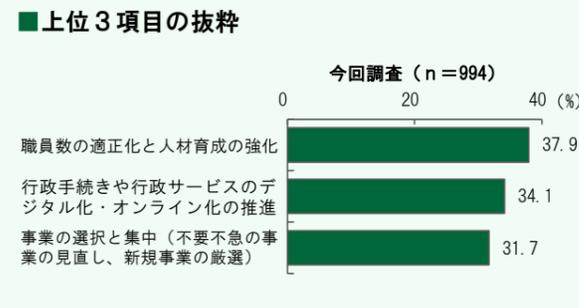
これからの行政サービスの水準と市民の負担のあり方について、最も多い項目は「行政をはじめ、市民・地域・事業者などが協力し合う共創のまちづくりを推進し、持続可能な行政サービスを提供すればよい」



### ●磐田市の効率的な行政運営のために、今後さらに進めなければならないこと（問 38）

磐田市の効率的な行政運営のために、今後さらに進めなければならないことは

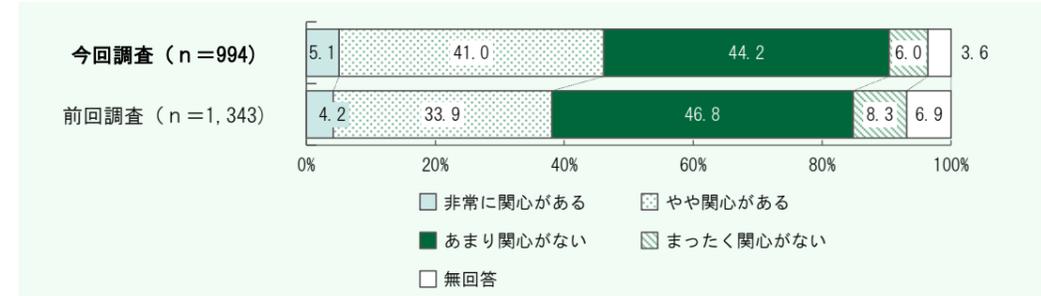
- ・「職員数の適正化と人材育成の強化」
- ・「行政手続きや行政サービスのデジタル化・オンライン化の推進」
- ・「事業の選択と集中（不要不急の事業の見直し、新規事業の厳選）」



## 15. 市政への市民参画について

### ●市政参画の関心度（問 40）

市政への参画に『関心がある』（「非常に関心がある」＋「やや関心がある」）人は約5割

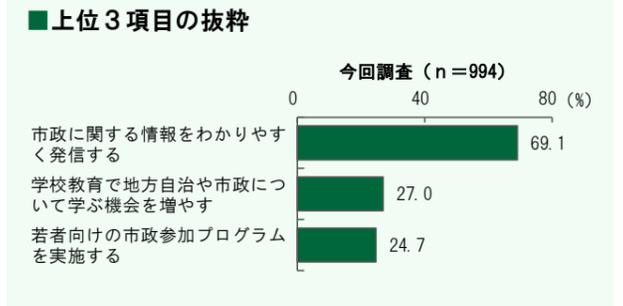


前回調査と比べ、『関心がある』が増加している

### ●市民の市政参画を促すために、特に必要なこと（問 41）

市民の市政参画を促すために、特に必要なことは

- ・「市政に関する情報をわかりやすく発信する」
- ・「学校教育で地方自治や市政について学ぶ機会を増やす」
- ・「若者向けの市政参加プログラムを実施する」



### 【調査の概要】

#### 1. 調査の内容

- ◎回答者の基本属性
- ◎磐田市のまちづくりについて

#### 2. 調査方法

対象者：市内に在住の満18歳以上の市民  
 標本数：3,000人（無作為抽出）  
 調査方法：郵送配布一郵送回答又はインターネット回答  
 調査期間：令和7年6月18日～7月9日

#### 3. 回収結果

発送数	回収数	有効回収数	有効回収率
3,000件	997件	994件 (郵送回答：736件、インターネット回答：258件)	33.1%

令和7年度（2025年度）磐田市市民意識調査【結果概要】 令和7年11月  
 磐田市 企画部 政策推進課 総合戦略グループ  
 〒438-8650 磐田市国府台3番地1  
 TEL 0538-37-4805 / FAX 0538-36-8954